

# Application for Participation

## Associated Schools Project(APS) for Promoting International Education

「羽根井再発見」

－地域を愛し、ともに生きる羽根井っ子の育成－

### 1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまでも地域の施設や産業を中心として、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域をみつめ・地域を知り・地域に学び、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進していくために、2012年度より研究テーマを「羽根井再発見－地域を愛し、ともに生きる羽根井っ子の育成－」と新たに設定した。地域に密着した学習を系統的に行うとともに、持続可能な発展のための教育(E S D)を推進することを通して「人間性豊かな羽根井の子」の育成をめざしている。

E S Dを確実に推進するために、全教職員で学習を深め、共通理解してE S Dカレンダーの作成に取り組んだ。具体的には、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域学習に関する活動、「伝統的な産業に触れる活動」、「地域の施設に関わる人々に触れる活動」、「地域の文化や歴史に触れる活動」と「行事等を関連づけた活動」を取り入れたE S Dカレンダーを作成し、実践を行っていくこととした。

このE S Dカレンダーを基にした実践を継続していくことで、将来にわたって、自分の地域よさに気づき、地域の誇りと愛着を育んでいくことができると考えている。

### 2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dを「暮らし」の観点から、自分たちが住む町の文化や人のつながりについての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉えている。羽根井小学校においては、その資質・能力の基礎的な部分を育てることを目的と考えている。

そのために、本校では4つの活動で、次の目標を掲げている。

#### (1) 伝統的な産業に触れる活動

- ・豊橋筆づくりの体験等
- ・豊橋港の見学と追究活動等

豊橋港と柳生運河によって発展してきた歴史的な重みに気付かせることで、今の暮らしを見つめ直すきっかけとする。

#### (2) 地域の施設に関わる人々に触れる活動

- ・校区内の保育園児との交流等
- ・老人保健施設「明陽苑」との交流活動等

地域の特色を知るとともに、そこに暮らす人々との交流を通して、思いやりを育てるきっかけとする。

#### (3) 地域の文化や歴史に触れる活動

- ・民俗資料館の見学等
- ・戦争体験を聞く会(ユネスコ)等

地域の歴史や文化への理解を深めることで現在の生活に至る変化に気付くとともに、戦争を乗り越えて現在の生活を築いた人々の思いから、力強く生きる思いを感じ取る。

#### (4) 行事等を関連づけた活動

- ・運動会、学芸会、作品展示会、授業参観(年間6回)

保護者、地域住民と一体になって育ち続ける子どもの姿を通して、地域の誇りと愛着を育むことができるようにする。

### 3. Execution (プロジェクトの実施)

本小学校では、E S Dの目的を「暮らす」の観点から、自分たちが住む町の文化や人のつながりについての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉え、その資質や能力の基礎的な部分を育てることであると考えている。

羽根井学区には、豊橋港につながる柳生運河が流れている。かつては鉄鋼や生糸が運河によって取引された。運河の各所には停泊所が、今も地域の人々の努力で大切に残されている。また、「豊橋筆」は伝統的な産業として手づくりによる生産が続けられている。こうした環境の中で、子どもたちが自分の住んでいる羽根井について知り、自分の思いをもって羽根井を語り、羽根井を愛することができるようになれば、社会を理解し、協調してともに生きようとする子どもが育つと考えた。

そのために、次の地域学習に関する活動と行事等に関連づけた活動で、それぞれの目標を達成するために、特に次の活動に力点を置いて、各学年で活動を進めるためのE S Dカレンダーを作成して実践している。

- ・羽根井再発見・学年別の取り組み（主に羽根井再発見に関すること）
  - 1・2年生・・・花ヶ崎保育園・明陽苑との交流
  - 3・4年生・・・豊橋民俗資料館・豊橋港の見学
  - 5年生・・・豊橋筆づくり体験
  - 6年生・・・校区の戦争体験者からお話を聞く会
- ・校区にある施設に関わる人々に触れる活動（主に保育園，老人保健施設に関すること）
- ・地域に伝わる歴史や文化に触れる活動（主に校外見学・体験学習に関すること）
- ・行事等に関連づけた活動（主に成果を発表したり，披露したりすること）

#### (1) 活動を進めるためのE S Dカレンダー(6年生の例)

6年生では、これまでの地域学習のまとめとして、羽根井再発見に重点を置き下記のような「E S Dカレンダー」を作成して取り組んでいる。

例示 6年生のE S Dカレンダー

[※特に戦争に関連する内容]

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	※ふるさとの良さを伝えよう										
社会	※長く続いた戦争と人々の暮らし 新しい日本、平和な日本										
図画工作	羽根井の町をみつめよう ・町並み写生										
道徳	学校への思いを高める ・学校のほこり										
総合	羽根井の歴史を調べよう					※戦争体験を聞く					
行事	※学習発表会で開校以来の羽根井校区の様子を劇で表現する										

(2) 伝統的な産業に触れる活動（主に豊橋筆づくりと豊橋港の見学に関すること）

伝統ある「豊橋筆」の良さに気付かせるように、地元の伝統工芸士さんを招いて筆づくり体験をしている。また、柳生運河と豊橋港によって、地域が発展してきた歴史的な重みを見学によって体感する場を設けている。



(3) 地域の施設に関わる人々に触れる活動（主に花ヶ崎保育園と明陽苑との交流）

地域の施設を知るとともに施設に関わる人々との交流を通して思いやりを育てる活動が続いている。老人保健施設「明陽苑」との交流は年5回行い、明陽苑に訪問するだけでなく、運動会には「明陽苑」のお年寄りが来て、子どもたちを応援してくれている。



(4) 地域の文化や歴史に触れる活動（主に民俗資料館見学と戦争体験に関すること）

文化や歴史への理解を深めるために、民俗資料館での見学や戦争体験を聞く会を行っている。これらを通して、日本の近代化や戦争を乗り越えて現在に至る歴史を知り、地域の人々の生きる力を感じ取る取り組みをしている。



(5) 行事等に関連づけた活動（主に成果を発表したり、披露したりすること）

活動の成果を保護者、地域住民に発表したり、披露したりする場として、主な行事（運動会・学習発表会・作品展示会）や授業参観のなかで効果的に伝えている。

#### 4. Type of materials to be used (使用する教材)

「小学校 キャリア教育の手引き」，文部科学省，2010

「豊橋市教育振興基本計画」，豊橋市教育委員会，2011

「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」，愛知県教育委員会，2012

#### 5. Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は，以下のように行う。

- ・児童の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想，発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会，行事等での成果の発表，意欲や態度を観察し評価する。

上記の評価と共に，さらに下記のことを実施して，ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・行事後の「アンケート」や7月と12月の「学校教育に関する改善検討アンケート」により，「地域学習の有効性」，「地域への誇りと愛着についての意識変化」等の項目について尋ねるアンケートを保護者，児童，教職員を対象に実施する。また，その結果を学校評議員に伝え，アドバイスをいただく機会を年2回設ける。
- ・児童の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように，今年度の実践を基にESDカレンダーを見直し，地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して，ユネスコASPの参加申請をし，少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また，毎年APSコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動レポートを提出します。)

19/2/2013

Date(日付)

校長，豊橋市立羽根井小学校

Principal's name (校長名 (※直筆))  
Position, (校長) Institution's name (学校名)